

ふれあいの発進



新任挨拶

施設長 粉川 顯仲

5月1日に、なんぐん館の施設長に就任致しました。前施設長の兼吉章先生のご業績を踏まえて、入所者の皆様やその家族に十分満足していただけるような心温まる看護や介護や、きめ細かいリハビリ等が出来る施設にしていきたいと思っています。

今までは医師会の理事として施設の設立や運営に携わってきましたが、今後は施設長という全く異なる立場で、館の運営を指導していきます。

職員の意見もいろいろと聞きながら、入所者の皆様が楽しく、安心して、生きがいのある生活が出来るような施設にしていきたいと思っています。

家族会報告

4月21日(火)家族会を開催いたしました。今回のテーマは『家族～つながり』と題して、在宅介護体験をご家族お二人の方に話していただきました。

お一人目は現在も在宅介護されている方で、気を付けていること、学んだこと等を折り込んで話していただきました。

～義父の認知症との戦いが始まり、毎日のように変化する義父、徘徊が始まり、言葉で意志を確認し合うことが難しくなっている。それに伴い介護内容は日に日に難しくなっていく……。その中で学んだことは「本人の気持ちに寄り添う介護の大切さだった」という言葉がとても印象的でした。～

お二人目は長期間、在宅介護され、現在入所されている方でした。～在宅介護の現実決して易しいものではなかった。その中で子供として親の変化(老い)を受け入れようとする心の葛藤を語っていただきました。現在は入所という環境は変化していますが、毎日のように面会に来られ、入所後の家族の形をご自分でしっかりとつくられているように思います。母から学んだこと・・・「人が人に有らざるさま」を身をもって示し、大切なことが何なのかを教えてくれたことに親の有り難さを思います。と言う言葉には参加していた家族・職員関係なく、涙々の感動でした。～

そして私達職員はこの家族会で、ご利用者様、一人一人々に生きてこられた生活と、それらを取り巻く方々の思いがいっぱい詰まっていることを改めて気付かされ、それらを宝物にして日々介護していくことの大切さを学ばさせていただきました。

今後の家族会においても、介護は一人で担うものではなく、しんどさや喜びをみんなで語り合えるような会にできたらと考えております。

勇気を持って話ししていただいたお二人に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



行事

6月
避難訓練
7月
七夕祭り

社団法人 南宇和郡医師会
老人保健施設
なんぐん館
南宇和郡愛南町御荘深泥703-2
TEL (0895) 73-1021
発行責任者 施設長 粉川 顯仲

日差しもだんだん強くなり、汗ばむ陽気も増えてきました。先日の愛南町大漁祭りには、主催者の発表で約二万五千人の来場者があったようです。網を持つてず濡れになりながら魚を追っている子供達や、潮の引いた後に貝掘りを楽しむ親子の姿に、改めて初夏の訪れを感じました。

これから本格的な夏に向けて、ますます暑くなってきましたが、水分補給や、帽子を被るなどして、熱中症や脱水などに気をつけて、楽しい夏を満喫しましょう。

編集後記